

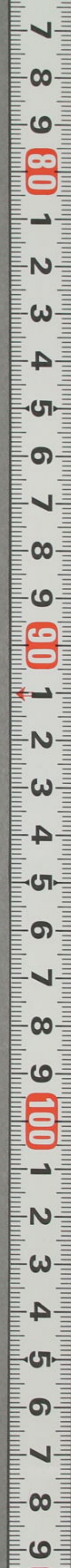


養浩堂日記
 己巳二月
 在東京

早稲田大学図書館

文書 27

A 25



明治二年己巳日記

二月朔日晴

君上月朔武例、依之涉考於游

會談可、到昨日新説之薩長、獻國、事、
執卷一日愕然、於先編所、
小川、
明日飛御、
天下時勢、
之晚天、
執筆、

會談可、到昨日新説之薩長、獻國、事、
執卷一日愕然、於先編所、
小川、
明日飛御、
天下時勢、
之晚天、
執筆、

豈有霸人不憶家自憐孤劍滯天涯春風一
掬傷心淚吹向江城灑落花 咸平

屈放賈遷自昔然羞若衰朽保殘年讀書為
卷終無用何日江濱吊二賢 臨齋

弦齋存七歌慷慨不平多
二日陰 午後雨

行政官占良材馬房田公儀人死出之必辦事傳達
所大原少將達別命在道

上杉式部

今般歸邑願之通無據情實被

聞食局暫時御暇之賜以糸歸邑之上維新同軌
之御趣意之奉體認藩政改革舊弊一新厚之治教
致之藩屏之職之不忝損盡力可致者
御沙汰之事

且兼沙汰
仰與通四月中旬、限り東京に來着之時事

二月

行政官

右身來八日由叢賀十日由道中米澤表十七日由着
あり未達す

一度形様御馬之淺草寶藏院迄春指雨半傷
殿成。時勢書一卷政府に差出す

一飛脚也差立宮村源流也考立之成源也昨年与
同心也勤め奔走也此時は是非也賞也感らるる也
濟也物也心也身也内也追愛者也也

一家書一封也

把来風雨梅花將身家園事思也生一又七弟
猪也性事也想起情也也七弟十九歳也大
人少也生也江也櫻田郎也井也地也先生也信也
才氣也秀也出也當時也作讀記也傳也二也三也也
小蒼茫十里品川灣面礫墩殘照間潮滿海門
天欲暮蠻船影遠總房山

客中萬事醉中休休笑顏登有酒樽若不他
鄉能飲酒何方掃却滿懷愁

黑苗川濶晚帆還倚盡出亭堤樹間上下水光
天一色玲瓏影泊岩筑波山

此等詩游也中書生中石也喻矣了也
漢也當也音家悅雨也中在目豈得不悽然乎
夜深一睡七弟思也也一也入夢來批燈記

三日好晴

下條中庶子也余也小川池田山吉也子也也也
事也論也物也也般也家也婿也也來也也初也部也

一旦佛供下りて上政乃山川山吉、三月上旬、再
登之方没評

屋形様午故之為り西國濱町秋月抄に此為入
相才少均殿

池田池側元光先考より元明日出立暇乞より入平
一小川来筋今般歸出舟土州之湯、離宴お催し

告別送交あり尤より舟書状お徳め林亀吉にお
會し西野中村觀市南名苑より白巻より

一片山海長沼の事抄節市島中役前地一系
深し談話お出来大政の岡山岸より阿波侯より一通

又中島より岩倉公より一通國情お徳の考方お通抄系に
上長沼のお酒年一物、長沼池の南部閑宿お通海
日格痛怖意新改より格何事と云は情実を抄
お通照し合せ仕事考方、海を舟間何より何
つより百姓共方歎願苦、計策を種を中つより
何やら千望万化底止る所あり、本氣しお徳を不
お思阿州侯より、東にお成り

四日晴之

一下條中庶子より今日お時片山一曰お良島らも云状
と以為沙巾、越は舟お人、清を考りて

一入法理繁之使出事

一形以竹 屋形様興讓寺の巻清。二本松城より

一午收二字は竹羽織袴着甲片山掛子同道

御殿に相諾下條中庶子我未浩所は法兼演説に次

第ハし百廿四出、先達を我未五人に建白改、出採

用を成ひ、付の形より友出國法游出心得との為

成當防の形勢事曲御聞取と、出國政出改革、

出為助、法神思匠より法匠百毛股藏、与、格演

説半の御前より出

一御之間出障不際、出能出思、片の南生、小の北生西人並列

一下條出小姓頭披露仁一郎誠一郎

屋形様御上段より出御出禱と去ら出御脱劍御

懇々御意也

西人永く滞京最初より非常、盡力法藩、有志

五斗り未く御役助らむ往来の時勢を洞察し、其上

今般出上地、一件より付中、段々盡力いたし、由悦子

存多、相又先達を連為、存寄中出如何、感

服従々今度歸國、御暇を賜ひ、折々付の法

見察命と奉り、政事向改革も改め各承知、

通彩暮々、楚々時勢あり見込、於て承知いたし

心得及且守中事ハ作大儀一敗盡力改採之
ありた

御意平為御不姓頭より御近々進候様西人御上段
敷指際迄膝行罷出御不姓頭曰勢傍に侍坐見
之御忌諱と不憚りて口達

仁一即敷言

今日大勢一變一萬國同視成敗以て何分大活
眼と世用とを以て中七機會七縁道仕事ハ此為
成る敷涉り外國之政も多創寫を以て不相成程令
い菩薩の許されぬと睨み指肉を十段口運に仕

事と改一仇ヤ味方より更、荒香と相成り七皆是
外國と内寄七機密も不外漏分改す故あり也
ハ何事も人オ多用を先づ第一に横濱の老
ハ一萬國之情態を諳知改を為者ハ味老ハ一
才も不不濟是非英學植むと為改めハ一者
に随從改改友昨年減印潜伏中世語ハ成り通
詞頭取柴田大助様を以て且又京攝ハ大肝要
以て兵庫止に往來改一中國九州之事情と貫徹
有るにありと存

減一高者言の今仁一帝中上より通り領と時務

沿革談一王政可成り得る實に勤王の志大切
を初め幕府の威權有る時、幕府を奉仕
其是勤王と稱せり、別は奥羽の目録に幕府を
見ると九州中國の目録に京師と見え、天朝と尊
ぶ敬ぶ様なきを以て此の幕府は衰運に成り政
刑失ふるの途に九州中國の人心を離れ、王政
論起るに頃、幕府と西國の争に天下何事相
成る不可量仍に諸侯各の時勢を見、国力を惜み
朝幕との不盡力因循の徑過し、亦今及政
権一伸し九州法を争ふ天朝に依り奥羽逆境

二月十九日

遭遇し世の天下あり平定す、天下あり薩州を安
心不改し、是に及薩長俄に國を天朝より遠く
名を共におし、お成り、亦其賊に跡をみ見
此は法度存留多し、常事し、天朝に薩
に全種を天朝に奉事す、薩は信あり、
国力を惜み、柔初を奉せり、道に外夷の權
恣を来し、遂に外夷の指となり、我身も國無
の勢をへし、あるに、時勢は霸政廢し、撥録
に流共し、廢し、薩長獨り權をもち、以て
人指目し、得共決る、亦就東國内切し、亂争

なる兎に角七の以海兵畢竟大根元外患
より始りてしる切南^通の形勢を成り以て外
患を顧慮す一後を免る難多の太政官を以て早
く^御御^事を^なす^べし^と怖^れ有^ると^思ふ^べし^と即^ち其^の美^息を
申^す深^く熟^考為^政見^る以^て先^に其^の王^政を
頼^り計^るの^日存^す成^るに^於て^是勤^王の^出實^を
力^を其^の急^務に^出場^を合^すと^思ふ

仁^を申^す只^今誠^を申^す如^く申^す其^の王^政計^を立^て續^く日
本^の其^の下^に私^心を^おく^脱艦^の勢^を浮^き上^る説
き^形成^るに^誠の^氣味^好い^形成^るに^如く^準一^の如^く延^び

人を^申す^先の^海國^の業^を其^の出^る思^ふ其^の一
共^に然^るに^形勢^を其^の我^國我^身共^に難^しと^思ふ
以^て是^を非^王政^の大^切と^思ふ^に其^の善^と人^才と^を
出^る其^の上^にま^す

滅^す帝^を其^の外^國の^可恐^る形^勢を^初の^奥羽^を其^の片^に
義^兵を^起す^時外^國人^の横^渡一^般の^氣味^を王^政
の^末より^無理^を出^す其^の心^を得^て英^國を^除く^其他
の^皆奥^羽の^味方^を摸^れる^に已^に幕^府代^の横^渡
税^銀の^上り^高六^萬兩^の餘^り今^に三^萬兩^の
位^に減^り且^に又^に新^潟敵^地戰^軍の^協を^其の^味方^に

今未歌助歡

我二人藩政改革之儀を談了西野決り急遽不
敷事と大緊要之戒と有り切考由海國可也
いと忠告す

土藩、亦獻國論を定り薩長亦然す

柿亀考父、昨年四月於大坂亦修論土州之人傑多
此邦名者時勢之進歩蒸氣船之海波と轉り如
尋常、馬蹄争ごう之に追及らん今日無他辭唯
英断に二字あり也

林、外國別事大隈八太郎日通已す昨年八月月中發程也

英人報言、下死人の墓前より出ぬ淋土州に疑乎も分明

去歲也

深更迄醉談雜沓快極と共、白別、物舎土州獻
見、情態、御家老の老を報す

六日晴

老母尤多病状、又未

山吉、と御使着被仰付、登坂右膳七番頭、沙作付
小川山吉、小生於會談所大論郡縣之事、於身在座、
亦老片山提學、肥前多久辨官と、仍不其宅、由り
中州、雨木林謙、二命と、仍と、言ふ

午後在側衣不山日伴土藩之訪軍市白泉之立於昨夜
之酒者料勘定且把之把之人別飲

土州即之到外之方其之不在或ハ大木民平之到之或ハ紫
崎別即之室堂公之供之可之

肥後益田男之訪号又不在遊之跡之這甘勝房州之訪
實之於晴之書物之性之

伏見之側之春暖之有之清溪之起也之在為國之天候
道之河昇堂之龍符之每約每朱教之御之海涵之

仰侯其の内諸之侯之有之一月遷延仕候之就之之客果
出當地之安之也仕之勤之也暇之戴藩政之向臥葉之

之配之由國之也擇取以薩長之藩之國之義之
お考之之實之井蛙之凡可之至之之好之以上先
醒方之之願慮之規施行之覺悟之之微力奮發
其之土藩之海議中之之不遠断決之改之密也其
堂之上相詰之也會之之客君八日當地之程之
之混雜不得之暇尤之生之滞留也其之其先以
寸楮之親之於二藩之國之書類之之之也
其内借之也其之也其之也其之也

二月二十

誠二亭

海舟先生 侍史

に於奥羽の米満ち此論を養一我輩は之福を蒙り
多き様は米満ち恨み於天朝も如何に米満ち
其有弊多し河より却る下馬を要べし且ち英雄
此活法を行わしむ天下未だ必ず安心せず恐らくは
騷擾の何より可なり此先ツ一旦工辟易き事
物之流着き最おし見合せを下し可なり味保
とて朝命を汝奉候手配る要あり第一川関世禄
と一若減削し人村成育し手配る要あり又會計局
と奉計局の一和第一肝要は為句り惣事
成る事あり

養一書

五六年の英雄を枕を高し眠るべし先年大久保
市花若花治の漢しし不料しむ激發の途に
たふあり沙鉄の成あり

舊年より奇談め山相海礮甚き築造の時薩人
某に建白す築造に七千萬あり費用を要す其幕
府を斃す策あり故に小松常刀を漢す常刀甚く自
由に者有し國を返し林を銅せし就市を礮
甚く不直直と海軍を起すべし先づ沖一は薩州に船を
起すべし常刀を漢せし常刀直し逐逐に海
に船を寄せり

外國人甚稱譽之對身為仁者事之必多
此又箱館傳也之官脫走之戰死者多
其多矣

今日之形勢如何變化不可料未午年
只今頃之目的もあはれん其あはれん
種々談話あり將由亞米利加并ポルトガル遣はる
ハテの林檎一籠七顆、内右三顆は贈り身即ち國
元老侯に土産多可波謝辭を演(持来帰侯)及
功舎會談所、其人此出お談ハテ林檎二箇ハ
君公に獻一箇、隨處傳為進、此ハ一萬里波

藩外に謀策、案、四計、當、身、公、獻、上、方、而、此、を、
法、卷

木滑六老と名藥研坂老侯杉平九郎と密談あり、呼
然、身、法、年、交、相、と、友、好、進、法、侯、と、郡、縣、の、
是、政、業、の、お、趣、者、あり、相、就、何、お、運、り、か、然、上、
杉、家、の、後、め、内、談、及、り、老、侯、に、法、侯、に、前、攝、侯、に、
同、格、周、旋、し、全、辭、は、中、於、廷、り、前、攝、侯、に、お、委、托、
し、お、成、り、老、侯、侯、と、同、志、し、是、非、法、侯、と、説、得、政、業、
に、お、法、中、の、處、前、攝、侯、に、お、談、し、お、成、り、老、侯、に、お、
何、種、幼、年、の、り、と、當、重、し、者、と、中、あり、且、隱、居、し、身、を、

坊に大子件説得るを死にて采邑何社も豫め達と
之内法侯献國、お成り第一於延り目申す事奪り改定
賣國罪、兎免對人之恨を蒙り、目前あり、其意如
く、若し先侯より前揚族より誘問、為る前揚目
的より、思案の上の扱より、決り申す

一麻布六本木箱中屋敷、徳川家へ譲り、其評議
お極り、明前島末女、可なり、決り申す

七日曇り雨

庄田六光片山提子、辨官多々、若し、新小川より、西
野の親用、馬より、駈け申す

土州西野を、献國、越えたり

早者西人土州西野を、四郎、及内談、安、今度
薩長共、満より、献國、成り、決り、お極り、申す
定より、内論中、此國事、事同じ、お極り、決り、共
國家、大事、件、繁、満、お極り、決り、申す、最、初、り
此、其、方、お極り、決り、申す、献國、事、お極り、申す、成、り、
ハ、其、勝、昧、事、其、目的、お極り、申す、仍、り、此、献國、事、お極り、申す、極
内、事、何、れ

西野、若、前、体、中、御、言、隱、居、り、當、官、法、命、の、義、を、終
廷、上、に、外、土、州、自、國、の、政、事、お極り、申す、任、一、切、関、係、不、致

九二建言波以九獻國之義、土州國論、已多承
知通一昨斗王政儀古、建自波以未、今日運、其來
得國、海已決、土佐、正月中、為伺、天機、上京
之節、於獻國、建自、朝廷、其出、若、其、其、獻國、大者
一、御一新、砌、於、建、生、教、中、奪、之、權、之、法、侯、強、大、一、の
尾、大、不、掉、之、患、者、之、於、庭、亦、漸、之、法、侯、之、力、七、併、て、法、為
立、以、得、志、自、然、法、侯、之、氣、光、之、以、其、物、不可、免、也、又
封建、之、弊、才、一、祖、先、門、閥、之、陰、依、て、無、功、之、能、子
孫、之、大、福、之、ら、の、賢、才、有、識、之、者、之、草、莽、之、埋、没、一、凍
餓、之、又、見、金、俸、君、臣、之、秩、序、ト、一、白、本、と、人、爵、の、例、の

立、本、乃、國、物、也、天、爵、之、貴、也、其、位、也、不、得、世
送、前、之、宿、弊、之、身、非、筆、正、之、尤、急、務、也、此、節、也、亦
所、要、日、本、之、古、來、天、子、之、體、一、王、不、易、之、大、門、也、
以、故、之、今、之、人、爵、之、廢、也、不、知、天、人、而、爵、並、立
之、處、之、玉、當、之、有、之、也、其、弊、滿、矣、其、獻、國、之、法、議
之、得、其、法、滿、一、般、之、交、之、後、令、獻、國、政、之、如、何、也、裁
定、也、成、之、八、結、局、也、於、廷、之、也、見、其、法、侯、之、封、祿、之、平
等、之、法、游、之、減、高、之、以、の、於、廷、也、用、進、之、供、一、朝、廷、直、之
兵、馬、之、糧、之、掌、控、也、成、天、子、親、也、在、貴、爵、也、成、極、之
也、成、獻、國、之、大、者、也、皆、之、也、日、之、愛、也、其、大、藩、之、務、也

蘇東坡之五柳... 何遜之五柳... 卷之五... 蘇東坡之五柳... 何遜之五柳... 卷之五... 蘇東坡之五柳... 何遜之五柳... 卷之五...

九日大風

庭田之老... 辨事... 庭田之老... 辨事... 庭田之老... 辨事...

卷之五

昨日... 庭田... 辨事... 庭田... 辨事... 庭田... 辨事... 庭田... 辨事... 庭田... 辨事...

方今大政新、復、高機此、親、之、實、千載、一機其名、其、實、
無、可、其、實、其、大、義、明、之、分、正、其、先、其、無、
德、川、氏、起、古、家、舊、族、天、下、半、之、因、家、起、之、亦、多、而、其、土、地、
人、民、此、朝、受、之、否、問、之、因、襲、久、以、今、日、至、世、或、謂、
是、祖、先、鋒、鎬、經、始、之、所、何、之、兵、推、疾、視、官、庫、入、其、貨、奪、
是、死、之、化、獲、之、所、之、異、之、庫、入、者、人、其、賊、之、
土、地、人、民、之、攘、奪、之、至、天、下、此、怪、之、甚、也、或、名、義、之、紊、壞、之、
今、之、新、治、求、之、宜、大、體、有、所、大、權、之、繫、之、假、之、可、
之、抑、臣、等、居、之、即、之、天子、之、土、臣、等、收、之、即、之、天子、之、民、之、
之、私、有、之、今、謹、其、版、籍、之、收、之、願、之、朝廷、其、宜、處、其、

與、之、是、之、與、之、奪、之、是、之、奪、之、凡、列、藩、封、土、更、其、詔、命、之、
之、改、之、定、之、而、之、制、度、典、刑、軍、旅、之、政、之、戎、服、器、械、之、制、之、
之、朝廷、之、出、之、天下、之、事、大、小、之、皆、一、之、歸、之、之、後、名、實、相、得、海、
外、各、國、之、並、之、是、朝廷、之、急、務、而、之、臣、子、之、責、之、故、之、臣、等、不、
省、謫、之、之、觀、之、之、敢、之、鄙、寒、之、獻、之、天、日、之、明、幸、之、照、臨、之、望、之、賜、之、臣、某、
誠、恐、誠、惶、頓、首

大直藩封土邊上願書

謹、之、之、之、王、之、之、新、之、之、之、之、
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

此乃分深恐入為之者其依之土地人民共其在上之宜
意以裁設身歟以上

二月
辨事由中

六田采女正

檄文

德川氏政權邊上彼其福連結 大政亦一新之正宜初之其確
立其以之供過行_る之後來大政之有歸_る以之其心痛之
即_る以之今_る之東北鎮定國家補_る為_る正事 皇政日新之趣_る矣
是國家之美事_る之有_るし雖然宿恨_る不_る其_る名_る之實_る者_る若_るら_る者
者_る若_る諸侯_る者_る其_る土地_る人民_る之_る所_る在_る之_る制度_る之_る累_る者_る其_る政_る刑

と事_るら_るる_るそ_るの_る藩_る屏_ると_る滑_ると_る之_る實_るの_る割_る據_る成_るり_る如_る分_る分_る於_る此_る
國_る乃_る分_る註_るし_るを_る我_る日_る本_る之_る一_る國_る何_る以_る海_る洋_る萬_る國_ると_る正_る際_ると_る違_るけ_るん
何_る以_る將_る來_る細_る圖_る之_る標_る準_ると_る立_るん_る也_る連_る、大_る義_る名_る分_る之_る實_る事_ると_る存_るけ_るた_る
不_る詳_ると_る行_るて_る皇_る政_る之_る基_る本_ると_る確_る定_ると_るへ_るし

第一

封土_る之_る奉_る還_る之_る郡_る縣_る之_る別_る度_る之_る儀_る正_る事_る

第二

諸_る侯_る之_る名_る號_る之_る廢_る之_る責_る族_ると_る稱_るし_る未_る邑_る或_る許_ると_る賜_ると_る事_る

第三

藩_る臣_る之_る名_る目_ると_る止_るり_る都_ると_る朝_る臣_ると_る唱_る侍_る録_る爲_るる_るの_る賜_ると_る事_る

以上三條件。今日。必。思。要。務。一。句。永。世。之。行。也。皇。朝。之。言。
所。多。頃。刻。皆。學。之。薩。長。土。尾。西。肥。等。既。此。議。之。決。其。國。家。之。
事。何。以。之。之。必。人。也。后。小。臣。若。敢。不。肯。微。力。者。不。願。愛。國。
之。物。共。連。署。依。之。朝。裁。之。仰。人。之。欲。之。若。同。意。之。諸。兄。之。不。各。以。尾。
之。於。之。責。者。其。判。之。賜。之。人。事。之。能。所。不。道。

明治二年己丑二月

秋月右京亮

以上三件

十日風

前。於。大。事。席。昨。也。誤。話。會。議。隨。之。外。亦。周。旋。白。金。部。之。何。
分。不。便。直。於。人。於。其。津。野。院。轉。寓。之。此。旨。之。海。下。

一長屋住長。取。佛。方。在。用。心。身。佛。殿。轉。長。寺。

一本。所。出。山。人。仙。是。却。到。富。田。致。者。一。北。大。太。郎。誤。話。出。

一。晚。方。在。田。之。所。之。由。的。

十日風

朝。果。對。轉。寓。之。竟。見。書。之。會。誤。所。之。者。出。于。其。中。
世。事。暫。眼。疾。于。駒。馬。鞠。者。大。息。果。對。轉。寓。之。願。之。
仍。會。誤。所。之。元。締。方。字。心。出。一。淨。雲。院。轉。寓。之。論。始。
之。定。

官。當。蘇。中。後。馬。之。訪。不。在。舍。之。最。前。之。不。一。方。世。話。
之。在。身。之。海。北。之。之。常。地。之。筋。指。系。

十分之用也... 前島先... 見用... 力と... 車...

以得... 明治二年二月... 前島先... 一上...

追凡二千五百年其内武家之政執之六百年
其餘凡二千年之悉王政之武家政事非然
王政之治ラスハ元弘頃一度王政復シテ又程ナリ
足利權ヲ奪シ給ヒシライハレ其實無敵ノ論決ナリ元
弘復古ハ上ノ思召ヨリ出来ル事ニテ下萬民心ヲ起リテ派ス
此ノ故、上ノ思召ノ動キテ忽チ武家ノ政事ト成リ然レ今
度ノ復古ハ右ノ異ナリ萬人元弘ノ覆轍ヲ恐レ居ルカ為ニ下
賤ヲ勤王ノ論起リ最初ハ浪士ヨリ始リ藩士及ヒ藩士ヨリ
大夫到リ大夫ヨリ諸侯及ヒ終ニ草莽ノ發起盡カヨリ
日ハ盛大ナリ自然ニ復古シクルニ萬カモ上ノ思召ハ變スルニ
下萬民ノ心ハ變セシムル武家ノ政道ノ成ルヘキ道理

依破、江蘇新平ハ
久留米、刻々勤
王業ヲ結託セル也

ナレ況ニヤ近來ノ形勢ヲ見ヨ武家ニテ亂タレ果テクルニ非ヤ
又云フ王政ノ復スルヲ為シテ其實ハ諸侯カ天下ノ權ヲ奪リ
シタルナラバ是レソ實ニ見込カヒ、根基ナリ其實王政ノ根元
下民ヨリ起リテ盛大ニナリ事ナレバ復令諸侯如何カ思ハルニ決
シテ自由ニナラセヨリ
方今諸侯ノ領地幕府ヨリ賜ル物トシ或ハ幕府ト君臣ノ
義アリト公然トシテ論ス者ハ尖ル事ナリ如斯クハ幕府ト
其君トモ逆罪ノ陷ル也其故如何トナレバ尺土モ王土ナラハシ
一民モ王臣ナラハナリ矧カハ皇國ヲ天朝ヨリ幕府ニ賜ヒルナ
レ然レニ萬一此王土ヲ私領トシ王臣ヲ私君臣ノ義ヲ約セバ
叛逆ナリ抑、賴朝、天下總追捕ヲ勒許スレ後於盜モ之

シ領シ来レラズ足利以後代ハ將家其物ヲ知ラス持テ傳ヘ
シヨリ然レバ今ノ領地ハ徳川家ヨリ諸藩ニ分テ預ケラシ且
王民ハ其從屬トセシメシ時ハ徳川ノ事業モ美トシ
然レ領地ハ幕府ヨリ賜ヘリシ幕府ハ君臣ノ義ヲ約セリ
在時ハ君臣ノ義ヲス幕府モ叛逆ノ汚名ヲ蒙ラシムル況
官位ハ朝廷ノ賜ニ物ニ官位ノ號ル人ト至リテハ猶更
王臣混シテ誰レノ臣トセシ

又云フ幕府ハ百年ノ息ヲ志ルハラスト實ニ尤ナリ併シ斯様
ハ云ハ朝廷三千年ノ大息ヲ何トカセシ若シ又六百年ノ間朝
息ナシトハ其前二千年ノ大息ヲ如何ニシ若シ世ト人悉ク
幕府ヨリ後ニ出來テ其前ハ父母ナキモノナラ六百年ノ息ト言

言フモ然レシ如斯萬事ヲ狭少ニ見ルトキハ扶持米ヲ渡ス役
人ヲ息人ト言フニ至ルベシ今度ノ朝廷御新政ノ御處置
ヲ奉伺テ瑣末ノ事ヲ悉ク列藩ハ御下向リテ後決シ給フ其
御公事御至當ノ事ヲ等ノ言ヲ待タシテ知レ可シ其本ハ
薩藝土ヲ始メ諸藩ノ周旋ヨリ出ル處トシ然レシ第一此
公平ヲ亂サスル者トハ思フ滿天下蜂起ト事必定ナリ如斯
下ヨリ發起シテ何故ゾ水戸義公以テ世ト名義ヲ論ル事
盛ニ成リ近頃幕府ノ罪ニ百テ條ナリ唱ルルニ至然レシ外夷
ノ事ヨリ積憤頻ニ發シ櫻田坂下東禪寺ノ事起リ次
五條但州ノ事及シ其次ハ大平山荒波ノ事件成リ其次
ハ長州ノ三大夫ヨリ追テ長防二州成リ今ハ西國諸藩ヨリ

其時、幕府、處置、嚴重、ニテ、最初、水戸人、等、數十人、殺、
殺、十人、ハ、リ、竟、長防、西國、教、萬、ト、ナリ、テ、今、マ、威、カ、ス、テ、削、シ、
難、シ、先、渡、西國、諸、藩、ヲ、萬、一、復、古、ノ、事、ヲ、遂、ス、又、東、南、
北、諸、國、モ、起、ル、當時勢、也、其、根、元、見、ル、上、六、名、義、我、ト、暗、ク、下、
明、カ、ル、ヨ、リ、然、ル、此、渡、一、度、ミ、ニ、反、モ、幕、威、ヲ、張、ル、事、ス、三、
年、ヲ、ス、テ、復、古、ス、シ、東、北、諸、藩、ハ、西、國、ノ、如、ク、義、勇、ノ、氣、モ、
是、レ、示、着、眼、ナ、キ、ナリ、既、水、戸、野、州、ハ、東、國、ニ、マ、ヤ、此、後、一、
激、發、ス、ル、ニ、キ、初、テ、其、徒、時、覺、ス、ヘ、シ、世故、ハ、方、
今、ノ、形、勢、ハ、名、義、上、ヲ、見、テ、モ、時、勢、上、ヲ、見、テ、モ、何、レ、モ、名、分、
大、義、ト、從、ガ、ハ、内、外、ノ、勢、又、シ、内、外、ノ、變、ハ、自、古、ノ、心、ヲ、出、來、
ル、ト、薩、長、ト、三、藩、朝、廷、ノ、為、ニ、盡、カ、シ、テ、費、用、ヲ、惜、ミ、然、シ、テ、

日、富國強兵、ナリ、其他、諸、藩、ハ、因、循、傍、觀、却、テ、貧、窮、弱、
兵、ナ、リ、見、ヨ、三、藩、ハ、君、臣、ト、モ、名、分、大、義、ヲ、主、張、シ、テ、尊、奉、ス、キ、
至、尊、ヲ、尊、奉、ス、故、上、下、之、心、合、同、シ、テ、財、用、ノ、出、入、其、他、諸、件、
モ、同、シ、ノ、盡、カ、ス、ル、ヲ、テ、丸、角、大、名、義、ヲ、主、張、セ、ル、君、臣、合、体、ハ、
決、シ、テ、出、來、ノ、事、ナリ、如、斯、ル、時、勢、ヲ、水、戸、烈、公、等、諸、侯、早、ク、
察、シ、テ、幕、府、ヲ、諫、シ、シ、テ、用、ヒ、却、テ、仇、ト、ナリ、是、哀、微、ノ、本、根、ナリ、着、
眼、ス、シ、抑、烈、公、以、下、ノ、罪、シ、ル、俗、眼、ノ、割、老、モ、徳、川、家、ノ、御、為、
ヲ、思、ヘ、シ、ハ、レ、ト、後、世、ヲ、見、ル、其、割、老、ヲ、諸、高、孝、斯、敏、武、田、
跡、部、長、坂、カ、豊、臣、家、ノ、大、野、類、ト、イ、フ、可、シ、決、テ、徳、川、ノ、忠、臣、ト、
イ、フ、マ、シ、是、等、ノ、人、モ、主、家、ノ、為、メ、ヲ、思、ヒ、シ、ハ、レ、ト、主、君、逆、思、ヒ、シ、後、世、
逆、誘、ス、ル、事、ヲ、知、ラ、サ、リ、シ、ハ、俗、眼、ナリ、シ、過、失、也、

上野高島山内福徳院と氣持多分方多保信
其歎らるる元、重く其の事止る何れも改方
其の事即何れ程も推し心地大抵抱絶抱絶其
自ら抱腹也

一 理達と信方二月十日、議事院開議、交延以言
す

存在田片山若くは岸杯
十少、量

土州藩邸と信方の官舎并藤本駿馬相會五有限
少公議人其由候少達之由は決中其分先の
見届、如心得矣、松頼候改方

一 武蔵飄風面談郡縣封典三進之論より力一
戦軍より其の郡縣論、國政を一統し海外万国

と其より國盛と宣揚し、議海村建論を國內
際し七國結し其強力を以て攘夷の改之議
論に對建論、少く海軍學を以て興起せ改之由

一 後藤孫多世命字和島侯曰能一昨、到着八
下橋北屋に任指し、石谷松坂屋、轉指し、維
新改方、江上、有十

一 卷與橋井平四郎、号松、東師、於方、卷内、運中
暗殺せし、其他物あり、初靜長、其の事、橋井
一、出丹、中、心、海、決、議、三、月、上、旬、出、者、為、禱、事、也

一上山長岡高瀧土州、來觀後友媒外、此方
或孫古談

一土方大一希先月末、上京于信由來、
理九島中

神田橋内方内瀧三生、訪不道

一信市堀尾、面有直上、神山内、多、清雪院、
東京所收人、永井直記、面層、福聚院、宿坊、
取、如、中、坊、中

一山町堀尾、移、下、屋敷、頼、次、前、切、面、有、身、昨
年、以、為、之、進、進、之、深、酒、多、年、吳、道、快、解、不、遠、為
族、七、西、京、引、案、多、能、治、坊、一、坊、節、昌、平、校、月

川原生三

主り十元

十七日、り、開校、學生、五十人、中、取、盛、一、等、教、授、也

薩州水本、安太郎、二、等、教授、也、板、之、命、也

播州三草、瀧、世、相、志、守、家、和、名、酒、美、酒、名、公、議、人、五、職、也
詩、多、酒、居、在、田、之、名、白、銀、師、也、出、向、堀、尾、口、也

一、清、家、先、中、條、也、前、方、先、木、滑、琴、人、為、人、滿、轉、邊、上
郡、縣、論、抄、也、明、米、澤、表、也、為、足、之、為、め、今、夕
杜、生、之、建、白、書、法、也

上山、高、泉、井、百、轉、祝、既、多、衛、人、也、掛、酒、也、推、其、來、法
十七、日、也

一早曉、中、條、木、滑、早、追、出、立

一、有、國、業、研、堀、澤、村、修、也、坊、也、未、身、躬、以、修、也

此等 年刻入冰理裝

在內勝山推部之防柳楊梅川軒、栗川對的碎收
被定之者、其談話繳曾

以和館出島之身且献屋与條之若州少流酒井家、
依力之与友之款頼國情、其及少種用之、口言

股野坂、木之準下、其得長回居少等、
第館出兵、其後、官軍凡是、其人紀州公、

因州、由收福山、能即、由、其、他、諸、事、列、
其、勝、山、談、判、之、大、旨、之、後、冊、記、載、

十七、日、修、雨
昨、想、在、内、中、一、泊、之、於、歸、居

献國之藩

薩州 長州 土州 阿州 因州 越前 尾張 肥前
松山義 大垣 膳所

行政官 其 諸 役 人

正親町三條大納言 土佐中納言 東久世中將
宇和島中納言 二月十三日、改、其、事、

右 議 定 官

木戶準一帝 後藤象次帝
十、日、改、其、事、是、
其、始、り、

大木民平

右 奏 興 官

秋月儀 右京亮 大原少將 天野半平 山中靜逸

箱崎印之出初政ヲノキ

十九日美晴

邊中傑木湯中者後越國之議之皆為是也成安分
西京便本達一追之紀州加州肥後佐原封本之奉
還名何一刻之沙以不歲早也越國之手能專要
好之之也飛御之皆米澤が是書付た之通

藩藉封還之建議

時勢日推移今日之事昨日之事飛乎明日之事
今日已之陳腐明之事今日已之舞了如
騎之正也之世態之當之聊之舊習之固滞之果
英法之也之時機已之有之事為之可之到

十九日

事

何之九州諸藩之兵之立之之得ん況也
海外文之邦が之往來之少少之送日之閉
月之盛ん之皇國之勢到此燿如大之變之是也
諸藩獻國之請之所以之獻國之請之薩長土
之藩上書已之具之今日也力之藩一唱之天下
風靡又接之石不得止獨之奧羽之於之未聞
有無議之因循之機之後之實之千載之送
憾之熟之方今之時勢之視之 王政維新之
後天下大之騷擾殆人之成止之有之不知幸之
三藩之協力之自之 王政之成就也西朝政廢之
王政興之兵馬之權能大之藩之有之皆ハ

有朝廷似無朝廷無幕府以有幕府是即也
二三之強藩協力以封土之獻所以亦大義名分
自然之大勢也名義一正自大基平業既卓
然一立之後後世如月如日初雖也王政豈
有堪哉天下太平之久劉東之兵馬之控也時
諸侯屏息仰相勸學自不足此時豈有九州
奧羽之差別哉幕政一弛及人之兵威遠之九州
不及與尊王攘夷之說蔓延于天下加之九州
之有志東西極行眼前之王朝之微弱之目擊之嫌
慨然憤劉東之蔑視于以時之當之奧羽藩士
天下唯知者奧羽而不知有天朝是東西法藩

桔枕之根元身今日時勢一變七百年武川相家
之權一朝王室仰海內已之一統之勢是皆天
地之氣運之人力之非所為天運之形之自於
且形者之接于變之通也何事之時之禍因僻陋
之風之改也一見隨所為見機之知者之漸為萬古
不易之法則之雖以廷不立唯時勢之與日月
變遷活法活法之國脈之維持之從命者之
亡變之背命者之亡也計之於戰事於戰事初
後歐羅巴之初之立之基礎之確立之自的
子力之世傳干戈之用事成之其法之有之
君教大體也如之也互目之函館也

國家事之為す、死活之義違り、實、萬世之遺憾
不可^有也。時常、則、我一人之淺見、多、天下大勢
之真相、自、身、國、肌、膚、奮、興、之、由、援、助、と、其、者
考、仰、之、際、之、由、本、操、用、お、ん、事、と、被、り、也、誠
惶、誠、恐、頓、首、臨、紙、再、拜

明治二十九年己巳二月十九日 官、高、城、下

米澤藩執政上杉式部殿

米澤藩執政殿

内中

招建白庄田、及、跡、尾、役、而、日、伴、白、銀、印、之、多、者、
方、米、澤、之、飛、御、久、年、之、方、人、也、洋、字、院、之、御、願、

奉、杯、家、也、と、認、め、る、事

二十日 雨、水、尤、甚

米澤藩、大、隊、共、備、之、外、島、合、之、兵、隊、皆、月、吾、隊、解
之、金、剛、隊、中、不、平、之、徒、多、く、山、伏、而、人、江、之、表、脱、走
いたし、尤、甚、表、通、判、持、系、走、入、福、田、法、澤、寺、等、以、隠、り、
尤、甚、御、為、白、帝、因、心、之、改、善、と、す

一年後、田原藩、公、務、乃、永、原、播、人、と、訪、田、原、曾、志、齋、之、政
之、事、長、州、藩、報、尾、崎、仙、石、と、改、良、之、事、中、一、大、概、簡、易、行、政、取
諸、局、御、中、中、取、收、帳、本、之、書、付、印、商、局、等、四、處、建、白、通、り
最、初、り、各、部、之、印、身、印、書、六、通、上、任、名、目、直、接、取、裁、受、之、事、也
然、る、事、中、因、州、方、建、白、取、建、白、帳、本、と、す

頼年日月波橋妓美家玉杯遊多智光そ柳橋と有收
鈴木と即し歌舞と傳ふむ花器柳徳者と並の在り不
快輝道と之峰我を諷し力里多江江舟有妓と舟中
三女描り舟と辭し芳原と則尾州橋有るなり觀飲
均道極已と半あり中と也昨身有者遊と難言と誤り
尖尖と亦の世世と古情多年の知己と非言不可論
支峰傲夢遊財資と第と磨の一片友証あり

二十言時

胡當原永原極人下志休毫一法術と治職副英献和
書類と借交者言と也心長州受草政事と款一卷也
善也而子追一人各記甲の太細あり東

一彦田片山有氏大塚村と有る何庵先生と暮年あり東
只觀花あり

一と故先利奈白銀師と有る余據尾日所被時談話于殿と
有るの津守位傳と圖号と層あり有る據尾日道入法理集
神明宗詣の節高橋齋治政と在肉股野漏平上あり
徳と云門あり在有人大と人心と悔あり感服被は有る
不平あり在方有位傳と程と成大候改了中川重基入
未任傳と有る園基と層廢あり

二十言時臨

晚起と有る國弟研坊と有る辨事深村仰花と初寅年宗弟
四年振と有る角層説と有る暇は為南智按及と仰花と

在內膳上禮帶七訪ふり也

とく之方日吹上水花系系男女膳を拜觀する所、當先
弱男女大群集り、我前より膳尾在り一覽成り其権
仕家大に規模園庭に布置て勢ふ也也。

二十四日曇雨

麻布六本木即三条智北邊に前島表助の所也、
而兼石澤村に春飯盛山法堂より初詣成り其勢、
此能意成り、此即中何なり、此後極に在り、
大祈禱の時節より始末、彼此極に苦、
根元極に色執政に日夜在り、
配之給て觀、膳上肩、上舟出御話と、
南

二月下四

金巻山生白

前島兄

御輝園出遊、交り板之角、亦板、
御後六本木御印、
重直在り、
一舟あり、
之舟あり、
十夜あり、
日結あり

御後六本木御印、
重直在り、
一舟あり、
之舟あり、
十夜あり、
日結あり

右之舟あり、舟片一、
行幸未し、
出川中、
陰雲、
雨、
我

二十六日

世良太一殿收錄書 片山提子日記初得梅香山系親在吉田
噴輔著書西洋雜果肉三編云々

平前入浴理髮并收採漆治芸神明集詣

毛利大末白銀并當洋雲院引移正誠酒者賜

二十七 晴

送水引渡、五成上野宿坊初發院は次東京府より發院

御信謹情、夜遊也、仍行路管、如何、以得、此、書、女、花

信、何、方、未、決、一、四、時、申、城、也、中、官、堂、義、中、海、馬、在、海、の、交、於

水、付、礼、七、以、解、也、也、友、國、節、身、引、於、根、也、何、長、州、公、前、人、内、孫

也、無、為、之、出、為、養、精、也、一、卷、國、許、書、以、此、先生、也、是、号、於、秋

本、秋、用、之、西、島、精、也、何、方、初、後、申、也、何、方、何、事、也、何、事、也、何、事、也、

御、進、或、在、親、也、何、事、也、長、國、節、也、何、事、也、中、也、何、事、也、

集、書、也、何、事、也、

空、堂、公、也、何、事、也、

一、京、師、攘、夷、論、也、源、因、于、津、川、士、之、考、起、也、何、事、也、

幕、之、失、所、必、竟、外、夷、也、直、不、為、之、罪、也、何、事、也、王、以、之、也、

或、以、交、也、天、朝、也、外、夷、也、何、事、也、倍、媚、也、過、也、何、事、也、

少、者、也、勝、也、何、事、也、昨、年、之、事、亂、也、伏、水、暴、動、也、

今、漸、法、法、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、

國、内、信、義、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、

何、事、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、何、事、也、

尚切於用一采一曰地昌年學校之國集編纂之戲交文章
承之或仍尚切勇進二等教授推舉之字以可之者亦
彼之人物中ニ學校切リ為之者多ク一旦是非引出
以多ク松岡七助ニ真推挙改メ自果考極道得潤
而先身乃意ハクハ即開成所判事新役切リ以際
人才之愛延於延ニ出由ハ皆要帳勘考切リ換テ多
一宗堂有為内ハ姓之人御一人近習者者為御戸役也
白由ハ為人教減少ニ成ルナリ
一尚切推挙一采在尚六先、石河治及大ニ感悟ニ行
多一筆在押テ多クハ皆起身ニ上毛利之教老ハ多
談話書ハ多ク出テ千海ニ多ク出テ種ハ形勢談話也

一山邊行政管リ舊揚田印博教書出リ品在ナリ在尚ニ地
所出河邊ハ有來年ハ少擡和之也、抑此揚田希トシ、
不分明ナリ、仍ハ飛脚差立ニ成リ、千海ハ仍ハ飛脚差立
一上州御印掛ニ付後入法教少シ、河邊ハ島島橋ハ有リ
里ハ多ク摩々博也

廿八日晴暖

辨事付達所ナリ味題ハ有官學金ハ無額神共付達所
昨ハ伯耆ハ札有、東京府ハ可多出、河邊ハ五國奉
一堀尾東京府ハ先ナリ長州御ハ有リ
一上山藩祝殿寄書入リ、君侯御國ハ其力改メ、自天做
ナリ若礼ハ銀ニ枚宛片山掛等ニ批生、河邊ハ一統海

簡字呈卷下，多飛之，即首再拜

二月廿四

誠不拜

山中先生同下

恭呈詩逸山中先生

長馬倉皇大地勢相逼，未信淚先傾。一封書奉
海膠血千里劍橫趨。嘲情語以連衡，為義者羞。
他未跡墜家聲，飲君會字，誠如海迎我高堂行。
萬望

評家不可不讀也

此正

羽州未得，留名官於山城，下本在東

京都，使進，未得，病，秋，冬，方，評，列，為，書，西，聖，皇，宗，宗，
有，在，田，之，鬼，逐，以，為，一，醉

廿日風景

山中辭官，其狀，并詩，之，贈，小，田，麻，滿，日，多，歎，近，却，身

和中川雪堂詩韻

涉臨不遠，九，何，象，車，到，艱，難，志，不，力，知，各，多，年
愛，必，濟，保，以，憂，不，可，忘，策

庚子三月十日夜寫了 五十一葉

